



## 報道関係者各位

## 【2024 パリ五輪の総括と 2028 ロス五輪への期待に関するアンケート調査結果】

MVP:岡慎之助 MIP:北口榛花 活躍満足度:早田ひな

【種目】観戦率:男子バレー LIVE 観戦率:男子マラソン 観戦満足率:女子やり投げ

【意識調査】パリ五輪は成功だった 55.3% 日本チームの活躍に満足 77.0%

【ロス五輪注目】全体:柔道 男性:野球・ソフトボール 女性:体操・バレーボール

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：中川直樹 情報マネジメント学部教授）は、2024 パリ五輪の閉幕直後に、日本代表選手に関する MVP（最優秀選手）・MIP（最も印象に残った選手）の投票、種目別の観戦率・満足度、大会運営・日本チームのマネジメントに関する意識調査、次回 2028 ロス五輪大会への期待などについて、開幕前に行った 1 万人アンケートの追跡調査として、全国の 1,000 人に対して実施しました。

## 1. 日本代表選手に関する調査（MVP・MIP は各 1 選手のみ。活躍満足度は複数選手への投票可）

順位	MVP		MIP		活躍満足度	
1 位	岡慎之助（体操）	104 票	北口榛花（投てき）	83 票	早田ひな（卓球）	310 票
2 位	北口榛花（投てき）	92 票	岡慎之助（体操）	79 票	阿部一二三（柔道）	298 票
3 位	阿部一二三（柔道）	54 票	阿部一二三（柔道）	51 票	張本美和（卓球）	237 票

## 2. 種目の観戦に関する調査

（観戦率はダイジェスト等を含む。LIVE 観戦率・観戦満足率は観戦者分母、観戦率 5%以上を有効として掲載）

順位	観戦率		LIVE 観戦率		観戦満足率	
1 位	バレーボール男子	32.5%	陸上男子マラソン	76.7%	陸上女子やり投げ	65.6%
2 位	卓球女子団体	30.0%	バレーボール男子	69.8%	体操男子団体総合	63.42%
3 位	体操男子団体総合	25.7%	陸上女子マラソン	66.9%	バレーボール男子	63.38%

## 3. 意識調査

質問	回答	主な理由
2024 パリ五輪は成功だったと思う	はい 55.3%	・開閉会式の演出 ・歴史的建造物との融合 ・有観客
	いいえ 44.7%	・不公平性 ・誤審 ・選手村の環境 ・セーヌ川の水質
日本チームの活躍に満足している	はい 77.0%	・メダル獲得の成果 ・競技力の向上 ・チームワーク
	いいえ 23.0%	・誤審への抗議不足 ・競泳の不振 ・リスク管理の課題

## 4. ロス五輪の注目競技調査（特に楽しみにしている競技を 5 つまで挙げてもらった結果）

順位	全体 (N=1,000)		男性 (N=507)		女性 (N=493)	
1 位	柔道	24.2%	野球・ソフトボール	30.2%	体操	24.7%
2 位	野球・ソフトボール	21.9%	柔道	25.0%	バレーボール	24.3%
3 位	バレーボール	20.2%	サッカー	22.3%	柔道	23.3%



## 1. 日本代表選手に関する調査

日本代表選手に関する調査は、**男子 232 選手、女子 198 選手の計 430 選手**を分析対象として実施しました。MVP（最優秀選手）・MIP（最も印象に残った選手）に関する調査は、それぞれ 1 選手のみを選んで投票する形式とし、理由を合わせて尋ねました。もう一方の活躍満足度に関する調査は、複数回答可（該当する選手全員）とし、①**知っている選手**を選択→②**競技を視聴・観戦した選手**を選択→③**競技での活躍に満足している選手**を選択という 3 プロセスで実施しました。なお「視聴・観戦」には、録画再生・ニュースやダイジェスト・テレビ以外の視聴手段を含みます。以下、調査結果を「MVP」「MIP」「活躍満足度」「知名度向上」の 4 つに分けて掲載します。メダルを獲得した選手には、参考としてメダル情報を付けて掲載しました。

### 1-1. MVP（10 票以上獲得した選手）

最多得票は、日本代表最多の 4 個のメダル（金メダル 3、銅メダル 1）を獲得した体操男子の岡慎之助選手でした。主にメダリストが名を連ね、基本的には**実績重視**の傾向が読み取れます。非メダリストとしては団体種目の中心選手だった、バレーボール男子のキャプテン石川祐希選手、バスケットボール男子のポイントガード河村勇輝選手が票を集めました。

総合 順位	選手<競技> (メダル情報)	MVP (票数)			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
1 位	岡慎之助<体操競技> (金×3) (銅)	104	36	68	・20 歳という若さで初めての舞台でミス無しで実力を出し切ったから (広島県 60 代女性) ・金メダルを 1 人で 3 つ獲得した (東京都 30 代女性)
2 位	北口榛花<陸上投てき> (金)	92	47	45	・歴史的な快挙だから (三重県 60 代男性) ・金を期待されてキッチリ金をとったから (大分県 50 代女性)
3 位	阿部一二三<柔道> (金) (銀)	54	30	24	・二連覇を成し遂げ日本の柔道界にした貢献は大きい (東京都 40 代男性)
4 位	早田ひな<卓球> (銀) (銅)	39	19	20	・個人、団体、両方での活躍 (北海道 50 代女性) ・怪我をしながらメダル 2 枚の成績 (宮城県 30 代男性)
	堀米雄斗<スケートボード> (金)	39	17	22	・最終トリックでの大逆転の二連覇は凄かった (新潟県 50 代男性)
6 位	石川祐希<バレーボール>	21	8	13	・あそこまで男子バレーを強く、まとめ上げた活躍 (北海道 40 代女性)
7 位	角田夏実<柔道> (金) (銀)	20	14	6	・危なげなく団体では 2 回級上のメダリストから一本勝ち (神奈川県 40 代男性)
8 位	松山英樹<ゴルフ> (銅)	15	12	3	・男子ゴルフ史上初のメダル (東京都 50 代男性) ・前大会の雪辱 (静岡県 40 代女性)
9 位	河村勇輝<バスケットボール>	11	6	5	・日本のバスケを世界に知らしめてくれたから (大阪府 30 代男性)
	湯浅亜実<ブレイキン> (金)	11	5	6	・初代女王になったから (山口県 30 代女性) ・新しい種目でメダルが取れた (神奈川県 30 代男性)
11 位	玉井陸斗<水泳飛び込み> (銀)	10	4	6	・飛び込み初メダル (大阪府 50 代男性) ・高校 3 年生で素晴らしい (埼玉県 40 代女性)



1-2. MIP (10票以上獲得した選手)

最多得票は、陸上競技フィールド種目における日本女子初の金メダルに輝いた北口榛花選手でした。MVPでは10票以上獲得した選手が11名に絞られましたが、MIPでは16名に票が分散する結果となりました。MVPとの比較では、阿部詩選手、森秋彩選手、吉沢恋選手、小久保玲央ブライアン選手、サニブラウン・アブデル・ハキーム選手が加わりました。

総合 順位	選手<競技> (メダル情報)	MIP (票数)			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
1位	北口榛花<陸上投てき> (金)	83	50	33	・笑顔で日本を明るくした(神奈川県 30代男性) ・試合も、人としても、輝いていた(宮崎県 40代女性) ・本番を心から楽しんでいるから(群馬県 60代女性)
2位	岡慎之助<体操競技> (金×3)(銅)	79	37	42	・大怪我をしたのに、そこからの努力、粘り、工夫した練習、 そしてその結果のメダルがすごい(静岡県 60代女性) ・新世代を感じた(山口県 30代女性)
3位	阿部一二三<柔道> (金)(銀)	51	24	27	・個人で二連覇、団体戦でも2階級上の相手と善戦した (東京都 60代女性) ・妹の無念を晴らし連覇した(大阪府 60代女性)
4位	早田ひな<卓球> (銀)(銅)	34	21	13	・日本に活気を与えてくれた(新潟県 20代男性) ・試合後の涙が印象的だった(福岡県 30代女性)
5位	堀米雄斗<スケートボード> (金)	32	11	21	・予選で苦しんで掴み取った五輪で奇跡的な活躍 (沖縄県 20代男性)
6位	石川祐希<バレーボール>	29	8	21	・負けはしたけど、世界と対等に渡り合う姿に感動した (鹿児島県 50代女性)
7位	玉井陸斗<水泳飛び込み> (銀)	26	14	12	・今まで飛び込みでこんなに上位にきた選手はいなかったし 演技もとてもきれいですばらしかった(埼玉県 60代女性)
8位	松山英樹<ゴルフ> (銅)	22	18	4	・世界で活躍しているが、オリンピックでもきちんと実績を作っ た(東京都 60代女性)
9位	阿部詩<柔道> (銀)	19	11	8	・悔しい気持ちが伝わってきた(岡山県 20代男性) ・五輪の難しさが浮き彫りになった(大阪府 50代男性)
	湯浅亜実<ブレイキン> (金)	19	9	10	・金メダルを獲得したことでブレイクダンスをみんなの身近な存 在にした(東京都 20代女性)
11位	角田夏実<柔道> (金)(銀)	17	11	6	・最初に金メダルを取った(東京都 50代女性) ・巴投げがカッコいい(静岡県 60代男性)
12位	森秋彩<スポーツライミング>	15	4	11	・不利な体格にも関わらず、メダルまであと一步のところまで 上りきる精神力が素晴らしい(埼玉県 40代女性)
13位	吉沢恋<スケートボード> (金)	13	6	7	・若いのにしっかりしていてメダルも獲得 (千葉県 30代男性)
14位	小久保玲央ブライアン <サッカー>	12	12	0	・国防とニックネームがつき活躍した(東京都 40代男性) ・史上最高のGKと感じた(兵庫県 60代男性)
15位	河村勇輝<バスケットボール>	10	4	6	・日本バスケットを背負った(東京都 20代男性) ・世界に通用する選手(埼玉県 60代男性)
	サニブラウン・アブデル・ ハキーム<陸上トラック>	10	7	3	・タイム(兵庫県 40代男性) ・前向きな姿勢(大阪府 60代男性)



### 1-3. 活躍満足度（100票以上獲得した選手）

活躍満足度調査は、複数回答可（該当する選手全員）としている点が MVP・MIP 調査との大きな違いです。

最も票を集めたのは卓球女子シングルスで銅メダル、女子団体で銀メダルを獲得した早田ひな選手でした。団体戦とともに活躍した張本美和選手、平野美宇選手も上位にランクインしました。体操も男子団体で岡慎之助選手とともに 2 大会ぶりの金メダル奪還に貢献した、最終演者の橋本大輝選手と第一演者の萱和磨の名前も見えます。

メダル獲得はならなかったものの、バレーボール男子において石川選手とともに活躍した西田有志選手と高橋藍選手、キャプテンとしてバレーボール女子チームをけん引してきた古賀紗理那選手、日本選手初となる五輪 100メートルでの 9 秒台をたたき出したサニブラウン選手などの活躍も高く評価されていることがうかがえます。

総合 順位	選手<競技>（メダル情報）	活躍満足度（票数）		
		全体	男性	女性
1位	早田ひな<卓球>（銀）（銅）	310	146	164
2位	阿部一二三<柔道>（金）（銀）	298	139	159
3位	張本美和<卓球>（銀）	237	102	135
4位	平野美宇<卓球>（銀）	230	99	131
5位	岡慎之助<体操競技>（金×3）（銅）	215	78	137
	北口榛花<陸上投てき>（金）	215	96	119
7位	堀米雄斗<スケートボード>（金）	202	72	130
8位	石川祐希<バレーボール>	186	65	121
9位	西田有志<バレーボール>	169	59	110
	松山英樹<ゴルフ>（銅）	169	90	79
11位	高橋藍<バレーボール>	163	53	110
12位	角田夏実<柔道>（金）（銀）	149	80	69
13位	橋本大輝<体操競技>（金）	146	45	101
14位	玉井陸斗<水泳飛び込み>（銀）	136	47	89
15位	吉沢恋<スケートボード>（金）	122	50	72
16位	張本智和<卓球>	121	49	72
17位	阿部詩<柔道>（銀）	119	48	71
18位	河村勇輝<バスケットボール>	113	48	65
19位	湯浅亜実<プレイキン>（金）	111	45	66
20位	古賀紗理那<バレーボール>	108	42	66
	サニブラウン・アブデル・ハキーム<陸上トラック>	108	59	49
	東野有紗<バドミントン>（銅）	108	48	60
23位	萱和磨<体操競技>（金）	106	28	78
24位	開心那<スケートボード>（銀）	104	38	66
25位	藤波朱理<レスリング>（金）	103	57	46



## 1-4. 知名度向上（上位10選手）

質問①の選手認知率を「知名度」と定義し、事前調査の同質問とのポイント差を集計しました。上位10選手は事後調査における知名度が全員15%を超えていますが、事前調査においてその基準を満たしていた選手は、サニブラウン選手と北口選手の2名だけでした。サニブラウン選手以外は全員がメダリストであり、特に金メダルを3個獲得した岡選手が圧倒的な1位となっていることから、2024パリ五輪での活躍とりわけメダル獲得が知名度アップの決め手になっていることが実証されました。

順位	選手<競技> (メダル情報)	知名度アップ°	事前知名度	事後知名度
1位	岡慎之助<体操競技> (金×3) (銅)	34.6 pt	1.2%	35.8%
2位	サニブラウン・アブデル・ハキーム<陸上トラック>	21.5 pt	42.8%	64.3%
3位	吉沢恋<スケートボード> (金)	19.1 pt	3.3%	22.4%
4位	玉井陸斗<水泳飛び込み> (銀)	18.2 pt	12.7%	30.9%
	湯浅亜実<レイキ> (金)	18.2 pt	4.1%	22.3%
6位	北口榛花<陸上投てき> (金)	17.7 pt	25.4%	43.1%
7位	角田夏実<柔道> (金) (銀)	17.3 pt	3.9%	21.2%
8位	村尾三四郎<柔道> (銀×2)	17.1 pt	1.8%	18.9%
9位	斉藤立<柔道> (銀)	16.4 pt	9.5%	25.9%
10位	安楽宙斗<スポーツクライミング> (銀)	15.7 pt	2.1%	17.8%



## 2. 種目・式典の観戦・視聴に関する調査

2024 パリ五輪では 32 競技 329 種目が実施されました。本調査では、競技ごとに分類した 329 種目に開会式・閉会式を加えた計 331 項目を提示し、①視聴・観戦した種目・式典をすべて選択してもらいました。その上で、①→②リアルタイムで視聴した種目・式典に限定、および①→③視聴して良かった種目・式典を選択してもらう調査を実施しました。

上記の調査結果を「視聴・観戦率」「LIVE 観戦率」「観戦満足率」の順で報告します。なお「視聴・観戦」には、録画再生・ニュースやダイジェスト・テレビ以外の視聴手段を含みます。日本代表がメダルを獲得した種目には、参考としてメダル情報を付けて掲載しました。

### 2-1. 視聴・観戦率（上位 15 件）

質問①の該当率を「視聴・観戦率」と定義（式典を含まなければ「観戦率」という呼称も可能）し、その比率をランキング化しました。予選やリーグ戦を行う種目については和集合となるため値が大きくなります。同様に、式典や日本代表がメダルを獲得した種目についてもニュースやハイライト番組で繰り返し放送されるため、値が大きくなる傾向にはあります。

興味深いのは性差が顕著な点でした。男性では最も観戦率が高い（28.8%）種目である「サッカー男子」が、女性では 36 位（11.8%）と 2 分の 1 以下でした。同じく男性 6 位（24.1%）の「ゴルフ男子」も、女性では 23 位（16.2%）という結果でした。逆に女性の方が男性よりも観戦率が高い種目としてはスケートボードが挙げられます。女性では 5 位（26.0%）の「男子ストリート」が男性では 21 位（16.2%）、8 位（24.7%）の「女子ストリート」が男性では 22 位（16.0%）となりました。それらの結果を確認できるように下表では上位 15 件まで掲載しました。

総合 順位	種目・式典 （日本代表メダル情報）	視聴・観戦率				
		全体	男性		女性	
1 位	バレーボール男子	32.5%	3 位	27.4%	1 位	37.7%
2 位	卓球女子団体（銀）	30.0%	2 位	28.0%	2 位	32.0%
3 位	体操男子団体総合（金）	25.7%	9 位	22.1%	3 位	29.4%
4 位	卓球女子シングルス（銅）	25.6%	5 位	24.3%	4 位	27.0%
5 位	柔道男子 66 キロ級（金）	25.1%	4 位	24.9%	6 位	25.4%
6 位	バレーボール女子	24.2%	7 位	23.1%	6 位	25.4%
7 位	陸上女子やり投げ（金）	22.7%	12 位	21.1%	10 位	24.3%
8 位	バスケットボール男子	22.6%	7 位	23.1%	13 位	22.1%
9 位	開会式	22.2%	14 位	20.5%	11 位	23.9%
	柔道女子 48 キロ級（金）	22.2%	11 位	21.7%	12 位	22.7%
11 位	スケートボード男子ストリート（金）	21.0%	21 位	16.2%	5 位	26.0%
	体操男子個人総合（金）	21.0%	17 位	17.4%	8 位	24.7%
13 位	サッカー男子	20.4%	1 位	28.8%	36 位	11.8%
14 位	スケートボード女子ストリート（金）（銀）	20.3%	22 位	16.0%	8 位	24.7%
15 位	柔道混合団体（銀）	20.2%	13 位	20.7%	16 位	19.7%
	ゴルフ男子（銅）	20.2%	6 位	24.1%	23 位	16.2%



## 2-2. LIVE観戦率（上位10件）

前節「視聴・観戦率」の留意点として、繰り返し視聴がその比率を押し上げる点について触れました。本節では、リアルタイムでの観戦率が高い種目の特徴を掴むべく、「LIVE 観戦率」のランキングを掲載します。この指標は、質問①（視聴・観戦）の該当者に占める質問②（リアルタイムで視聴）該当者の割合です。なお視聴・観戦率の閾値を5%以上に設定しました。LIVE 観戦率が高い種目として注目されるのは1位と3位にランクインしている「マラソン」です。「オリンピックの華」とも呼ばれ、大会最終盤に実施されて閉会式内で表彰が行われることも恒例となっている種目であり（通常は男子が最終日ですが、男女平等を謳うパリ五輪では女子を最終日に設定）、リアルタイムでの観戦率が高いことが実証されました。

総合順位	種目・式典 (メダル情報)	視聴・観戦率	LIVE 観戦率				
			全体	男性		女性	
1位	陸上男子マラソン	12.9%	76.7%	1位	75.7%	1位	78.2%
2位	バレーボール男子	32.5%	69.8%	2位	71.2%	2位	68.8%
3位	陸上女子マラソン	12.4%	66.9%	3位	67.1%	3位	66.7%
4位	バレーボール女子	24.2%	64.9%	5位	65.0%	4位	64.8%
5位	バスケットボール男子	22.6%	62.4%	4位	65.8%	7位	58.7%
6位	バスケットボール女子	15.4%	61.0%	10位	61.9%	5位	60.0%
7位	ゴルフ男子(銅)	20.2%	59.9%	9位	62.3%	9位	56.3%
8位	ゴルフ女子	8.4%	59.5%	11位	61.4%	10位	55.6%
9位	柔道女子52キロ級	15.8%	58.2%	7位	62.3%	13位	54.3%
10位	柔道混合団体(銀)	20.2%	57.4%	19位	55.2%	6位	59.8%

## 2-3. 観戦満足率（上位10件）

本章の最後に掲載するのは「観戦満足率」です。この指標は、①（視聴・観戦）の該当者に占める③（視聴して良かった）該当者の割合です。前節同様に視聴・観戦率のしきい値は5%以上に設定しましたが、前節とは対照的に日本代表がメダルを獲得した種目が多くを占め、例外は「バレーボール男子」と「陸上男子マラソン」のみです。特に「金メダル」獲得種目が半数以上であることから、観戦満足率には「競技の結果」が大きな影響を与えていることが推察されます。

総合順位	種目・式典 (メダル情報)	視聴・観戦率	観戦満足率				
			全体	男性		女性	
1位	陸上女子やり投げ(金)	22.7%	65.6%	1	66.4%	3	65.0%
2位	体操男子団体総合(金)	25.7%	63.4%	26	52.7%	1	71.7%
3位	バレーボール男子	32.5%	63.4%	15	56.8%	2	68.3%
4位	柔道男子66キロ級(金)	25.1%	61.4%	5	62.7%	5	60.0%
5位	柔道女子48キロ級(金)	22.2%	60.8%	3	64.5%	11	57.1%
6位	陸上男子マラソン	12.9%	60.5%	4	63.5%	13	56.4%
7位	体操男子種目別鉄棒(金)	11.7%	59.0%	2	64.9%	14	56.3%
8位	柔道男子81キロ級(金)	18.0%	57.8%	7	60.2%	18	54.9%
9位	バドミントン混合ダブルス(銅)	16.5%	57.6%	17	55.1%	6	59.8%
10位	卓球女子団体(銀)	30.0%	57.3%	6	62.7%	24	52.5%



### 3. 意識調査

2024 パリ五輪を社会調査的な視点から総括すべく、「はい」と「いいえ」を選択肢とする質問を、「五輪の意義と大会運営に関する調査」と「日本代表の活躍とコミュニケーションに関する調査」の2つのテーマに分けて、それぞれ5問ずつ尋ねました。なお、前者については「大会運営の良かった点と改善点」、後者については「日本チームのマネジメントにおいて評価できる点と今後の課題」についても自由記述で尋ねました。以下にそれらの結果概要を述べます。

#### 3-1. 五輪の意義と大会運営に関する調査

「はい」の回答率を肯定率として、関連する5つの質問の肯定率を属性ごとに集計し、全体としての肯定率の高い順に並べた結果が上方の表になります。各セルの網掛けは、相対的に肯定率が高いほど暖色、低いほど寒色としています。

パリ五輪に限定せず一般的な五輪に対しては、すべての層で「素晴らしい祭典だと思う」の肯定率が過半数にのぼり、女性と60代では約7割にもおよびました。しかしながら、2024パリ五輪に限定すると、各層でおおむね10ポイントずつ肯定率が低下していることがわかります。「夢中になれる瞬間があった」については過半数となっているものの、「世界平和の祈念」や「パリやフランスへの関心度アップ」にはあまり結びつかなかったことが定量的な結果として示されています。

質問	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
オリンピックは素晴らしい祭典だと思う	65.8%	62.5%	69.2%	58.3%	67.6%	67.7%	64.3%	70.2%
2024パリ五輪は成功だったと思う	55.3%	52.9%	57.8%	51.2%	50.0%	57.0%	56.6%	60.1%
2024パリ五輪で夢中になれる瞬間があった	54.4%	52.3%	56.6%	57.7%	50.6%	54.7%	51.1%	58.6%
大会を通じて、世界平和を願う気持ちが高まった	41.1%	34.5%	47.9%	36.3%	36.9%	38.1%	45.5%	47.0%
大会を通じて、パリやフランスに興味をもった	29.7%	27.4%	32.0%	33.9%	33.0%	29.6%	27.2%	26.3%

その背景を定性的な自由記述で探ったものが下方の表になります。パリ五輪の良かった点として、「式典の豪華さ」「有観客での無事開催」「美しい景観」「歴史的建造物との融合」「コスト削減」「SDGsへの配慮」「交流の促進」が挙がる一方で、「不公平性・誤審」「選手村の環境」「セーヌ川の水質」「商業主義」「治安の悪さ」「ジェンダー問題」などへの不満の声も上がっていました。とりわけ170件以上記入された「不公平性・誤審」への批判は、競技の結果にも直結する重大問題のため、パリ五輪を一概に成功と呼べない第一の原因だと考えられます。

	分類	件数	自由記述の抜粋
良 か っ た 点	式典の豪華さ	49	・開会式、閉会式が華やかだった（福岡県 40代男性）
	美しい景観	29	・エッフェル塔がシンボリックに印象に残った（埼玉県 60代女性）
	歴史的建造物との融合	24	・芸術、歴史を感じる会場での実施は良かった（秋田県 30代女性）
	コスト削減	11	・設備面で東京大会より経費削減していた（大分県 60代男性）
	SDGsへの配慮	7	・環境問題を取り上げている（兵庫県 40代女性）
	交流の促進	5	・チャンピオンパークでの交流（愛知県 40代女性）
改 善 点	不公平性・誤審	174	・色んなジャッジがフランス寄りで不信感がつづいた（青森県 60代女性）
	選手村の環境	63	・選手村全体（エアコン、セキュリティ、食事）（新潟県 20代男性）
	セーヌ川の水質	59	・トライアスロンの選手は汚い川でかわいそうだった（熊本県 60代女性）
	商業主義	9	・金満主義のオリンピックはもう不要（埼玉県 60代女性）
	治安の悪さ	5	・盗難が多かった（宮崎県 40代女性）
	ジェンダー問題	5	・多様性の時代だが、染色体で男子、女子を分けるべきだ（大阪府 30代女性）



### 3-2. 日本代表の活躍とコミュニケーションに関する調査

前節同様に、関連する5つの質問の肯定率を属性ごとに集計し、全体としての肯定率の高い順に並べ、相対的に肯定率が高いほど暖色、低いほど寒色に網掛けしたのが上方の表です。

2024 パリ五輪における「日本代表の活躍」については、**海外開催の五輪として過去最高となる 45 個のメダル（金 20、銀 12、銅 13）** を獲得したこともあり、全体で 77.0%もの人々が満足を示しました。60代に至っては約90%の高率です。他の質問項目についてはいずれも肯定率は半数を割り込みましたが、属性によって差異が見られました。相対的に「いつもよりも会話のネタが増えた」は女性において高く（47.1%）、男性（38.3%）との間に約9ポイントの差がありました。他方、**世代差が顕著だったのは「ネット上での他人の意見・感想のチェック」**であり、20代（42.3%）と60代（17.2%）との間には、実に25ポイント以上もの開きがありました。そこまでの大きな差ではないものの、「TVer 利用」と「リアルタイム視聴に適した時差」についても20代の値が高い結果が得られました。ただし、これらの2変数は、30代で落ち込み、40代で再び上がるなど非線形の結果のため、年齢が決定要因とは必ずしも言い切れません。

質問	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
日本代表の活躍に満足している	77.0%	75.1%	78.9%	67.9%	70.5%	78.0%	77.0%	89.4%
大会期間中、いつもよりも会話のネタが増えた	42.6%	38.3%	47.1%	48.2%	40.9%	41.3%	38.3%	46.0%
他人の意見や感想が気になり、ネット上でチェックした	28.2%	26.6%	29.8%	42.3%	34.1%	33.2%	18.3%	17.2%
日本との時差7時間がリアルタイム視聴に適していた	20.7%	20.9%	20.5%	23.8%	17.6%	24.2%	19.1%	18.7%
競技視聴のために「Tver」を利用した	20.6%	22.7%	18.5%	26.8%	19.3%	23.8%	16.2%	18.2%

上述の通り、日本代表の活躍については肯定的な意見が多いですが、「評価できる点」だけでなく「今後の課題」についても掘り下げを行いました。前者に関しては、「選手の努力」はもちろんのことながら、「コンディションのサポート」や「選考基準の明確化」、「有能な指導者の招聘」といったマネジメント面を評価する声も多く寄せられました。後者に関しても、前節とも関連する「誤審への毅然とした抗議」の必要性、「競泳の復活」やメダル獲得まであと一歩叶わなかった「団体競技の強化」、次章にも関連する「五輪後の注目度維持」などの建設的な意見が数多く寄せられていました。

	分類	件数	自由記述の抜粋
評価できる点	メダル獲得の成果	64	・これだけ金メダルをとれたのはマネジメント力が上がったから（神奈川県 40代女性）
	競技力の向上	42	・世界レベルが増えた（埼玉県 60代男性）
	コンディションのサポート	27	・選手にとって生活しやすい環境整備（新潟県 20代男性）
	チームワーク	24	・団体としての協力体制（愛知県 20代男性）
	選考基準の明確化	8	・昔に比べれば選考基準が明確になってきた（千葉県 40代女性）
	有能な指導者の招聘	6	・外国人コーチで強くなった（宮城県 50代女性）
	メディア対応	5	・中傷についていち早くコメントを出した（大阪府 60代女性）
今後の課題	誤審への毅然とした抗議	21	・異を唱えず舐められてる感じが嫌（千葉県 50代女性）
	競泳の復活	20	・競泳陣の奮起（広島県 30代男性）
	リスクマネジメント	17	・コンプライアンス強化（神奈川県 50代男性）
	リザーブ制度の有効活用	15	・マラソンの補欠が機能しなかった（埼玉県 40代女性）
	情報収集力の強化	9	・競技によっては世界に置いて行かれているものがある（神奈川県 60代男性）
	団体競技の強化	8	・団体競技でメダルが増えたらいい（山口県 20代女性）
	五輪後の注目度維持	6	・競技への注目度を一過性で終わらせないこと（新潟県 50代男性）



## 4. 競技の関心・注目に関する調査

競技の関心・注目に関する調査は2つ実施しました。一つ目は2024パリ五輪の実施競技に関して、事前調査と同じ**44 競技分類**<sup>※</sup>を用意した上で、事前調査同様に「**関心のある競技をすべて**」を選択してもらう調査です。該当率は「**関心度**」と定義します。そして、もう一つの調査は、次の夏季オリンピック競技大会である**2028 ロス五輪**に関してです。**実施予定の35 競技**を提示し、「**特に注目している競技を5 つまで**」選択してもらい、合わせて理由を記述してもらいました。

### 4-1. パリ五輪前後における関心度の変化

開幕前にもまったく同じ調査を実施しているため、両者のポイント差を「**関心度変化**」として集計しました。**五輪という特別な期間においては注目を集めるものの、平時もその注目を維持することが難しい点**は再三指摘されてきた課題であり、前章においても「**五輪後の注目度維持**」として複数の回答者が挙げていましたが、その傾向が顕著に現れました。

順位	競技（日本代表メダル情報）	関心度変化	開幕前関心度	開幕後関心度
1位	フェンシング（金×2）（銀）（銅×2）	+3.84	3.46%	7.30%
2位	スポーツクライミング（銀）	+3.45	5.85%	9.30%
3位	馬術（銅）	+2.91	2.39%	5.30%
4位	水泳／飛び込み（銀）	+1.39	4.71%	6.10%
5位	近代五種（銀）	+1.34	1.46%	2.80%
6位	スケートボード（金×2）（銀×2）	+1.09	9.31%	10.40%
7位	レスリング（金×8）（銀）（銅×2）	+0.87	8.33%	9.20%
8位	自転車競技	+0.81	3.19%	4.00%
9位	射撃	+0.38	2.12%	2.50%
10位	ヨット競技（銀）	+0.19	1.31%	1.50%
11位	水泳／マラソンスイミング	-0.23	1.23%	1.00%
12位	ホッケー	-0.35	1.25%	0.90%
13位	ビーチバレーボール	-0.36	1.96%	1.60%
14位	テコンドー	-0.38	1.38%	1.00%
15位	ハンドボール	-0.67	2.37%	1.70%
16位	トライアスロン	-0.70	2.30%	1.60%
17位	陸上競技／フィールド（投てき）（金）	-0.89	8.69%	7.80%
18位	トランポリン	-0.95	2.75%	1.80%
19位	バドミントン（銅×2）	-1.12	12.92%	11.80%
20位	ウェイトリフティング	-1.13	1.83%	0.70%
21位	カヌー	-1.16	2.26%	1.10%
22位	アーチェリー	-1.17	2.67%	1.50%

※ 陸上競技は「トラック種目」「フィールド（跳躍）」「フィールド（投てき）」「マラソン・競歩」「男子10種・女子7種」に、水泳は「競泳」「飛び込み」「水球」「アーティスティックスイミング」「マラソンスイミング」にそれぞれ5分割しました。また体操競技から「新体操」と「トランポリン」、バレーボールから「ビーチバレーボール」、バスケットボールから「3x3バスケットボール」をそれぞれ独立させました。競技名について、「ローイング」は「ボート競技」、「セーリング」は「ヨット競技」、「ブレイキン」は「ブレイクダンス」という表現に変更しています。



順位	競技（日本代表メダル情報）	関心度変化	開幕前関心度	閉幕後関心度
23位	水泳／水球	-1.24	2.44%	1.20%
24位	ゴルフ（銅）	-1.25	10.65%	9.40%
25位	ボート競技	-1.28	1.48%	0.20%
26位	ボクシング	-1.32	3.92%	2.60%
27位	陸上競技／男子10種・女子7種	-1.50	3.20%	1.70%
28位	3x3バスケットボール	-1.82	2.92%	1.10%
29位	7人制ラグビー	-1.92	3.22%	1.30%
30位	陸上競技／フィールド（跳躍）	-2.10	5.50%	3.40%
31位	新体操	-2.48	5.08%	2.60%
32位	水泳／アーティスティックスイミング	-2.65	4.25%	1.60%
33位	ブレイクダンス（金）	-2.83	10.83%	8.00%
34位	サーフィン	-3.14	6.14%	3.00%
35位	卓球（銀）（銅）	-6.23	27.13%	20.90%
36位	体操競技（金×3）（銅）	-6.36	19.36%	13.00%
37位	陸上競技／マラソン・競歩	-6.93	13.03%	6.10%
38位	テニス	-7.67	13.27%	5.60%
39位	サッカー	-7.79	24.29%	16.50%
40位	柔道（金×3）（銀×2）（銅×3）	-8.94	28.34%	19.40%
41位	陸上競技／トラック種目	-11.96	20.66%	8.70%
42位	バレーボール	-13.66	34.86%	21.20%
43位	バスケットボール	-14.07	28.77%	14.70%
44位	水泳／競泳（銀）	-17.81	24.11%	6.30%

44競技分類中、関心度が上がった競技はわずか10競技でした。上位はいずれもメダルを獲得した競技であることから、メダル獲得が競技関心度をアップさせることが実証されていますが、それ以上に全体的な関心度のダウンが目立ちます。特に最下位の「競泳」は、過去の大会では金メダルをはじめ複数メダル獲得が当然視されていただけに、今回の銀メダル1個という結果は期待の裏返しとしての失望につながったと考えられます。

開幕前関心率が2桁以上の競技が軒並み下位に沈む中で、「バドミントン」「ゴルフ」「ブレイクダンス」の低下が大きくないのもメダル獲得の効果と考えられます。また、「バスケットボール」はW杯2023、「バレーボール」はW杯2023と今年のネーションズリーグ2024によって、パリ五輪開幕に関心度のピークを持って来たという見方や、今なお2桁以上の高い関心度を維持しているとの見方もできますが、一般的に「五輪後の注目度維持」の課題は共通しているといえるでしょう。



## 4-2. ロス五輪の注目競技

2028 ロス五輪の実施競技として現時点で確定している全 35 競技を選択肢として提示し、「特に注目している競技を 5 つまで」選択してもらった該当率を「注目度」とし定義し、全体の注目度の高い順（総合順位）で掲載しました。なお、2024 パリ五輪の 32 競技との比較においてリストから外した競技は「ブレイキン」と「ボクシング」の 2 競技、追加した競技は「クリケット」「野球・ソフトボール」「ラクロス」「スカッシュ」「フラッグフットボール」の 5 競技です。

2024 パリ五輪の開幕前調査では 3 位だった「柔道」が、男女から平均的に注目度が高く 1 位に躍り出ました。男性では 2020 東京五輪以来の復活となる「野球・ソフトボール」が圧倒的な 1 位、女性回答では僅差で 1 位「体操」、2 位「バレーボール」となりました。「野球・ソフトボール」を除き、追加競技の注目度は現時点では高くありませんが、2020 東京五輪における「空手」「スケートボード」「スポーツクライミング」「サーフィン」、2024 パリ五輪における「ブレイキン」は大会時には大きな注目を集めました。今後の 4 年間でどこまで注目度を伸ばすか、本研究所では継続的に調査していきます。

総合 順位	競技名	注目度			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
1 位	柔道	24.2%	25.0%	23.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本のスポーツだと思うので、柔よく剛を制すところをみたい（神奈川県 40 代女性）</li> <li>・JUDO と柔道の齟齬やルールや審判の問題がどれだけ改善されるか気になる（東京都 60 代女性）</li> <li>・団体戦でリベンジしてくれるところを見たいから（山口県 40 代女性）</li> <li>・一二三の三連覇（愛知県 50 代男性）</li> </ul>
2 位	野球・ソフトボール	21.9%	30.2%	13.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野球の母国アメリカであれば、メジャーリーグの威信をかけた戦いになるため（沖縄県 20 代男性）</li> <li>・大谷翔平率いる日本チームがまた見たい（埼玉県 40 代女性）</li> <li>・女子ソフトボール、見ていて楽しかったから（広島県 40 代女性）</li> </ul>
3 位	バレーボール	20.2%	16.2%	24.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今度こそメダルをとるためどんなチーム作りをするのか楽しみ（北海道 40 代女性）</li> <li>・世界との差が縮まっています。頑張ってほしい（大阪府 50 代男性）</li> <li>・日本チームの更なる強化に期待（静岡県 20 代女性）</li> </ul>
4 位	卓球	19.7%	18.1%	21.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年々、女子卓球は中国選手に追いついてきているので、次は金が取れる（北海道 60 代男性）</li> <li>・張本兄妹のさらなる成長が楽しみ（埼玉県 60 代女性）</li> <li>・今回メダルに届かなかった男子の奮闘に期待（東京都 50 代女性）</li> </ul>
5 位	体操	19.5%	14.4%	24.7%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回大健闘だったので次回も頑張ってほしい（神奈川県 40 代女性）</li> <li>・団体金メダル連覇（新潟県 50 代男性）</li> </ul>
6 位	サッカー	14.5%	22.3%	6.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若年層の技術が上がっているので、4 年後が楽しみ（東京都 60 代女性）</li> <li>・メダルまであと少しの頑張り（大阪府 50 代男性）</li> </ul>



総合 順位	競技名	注目度			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
7位	バスケットボール	12.9%	12.6%	13.2%	・本場での日本選手の活躍が見たい (東京都 60代女性) ・Bリーグが好きなので選手がほとんど分かる (長崎県 40代女性)
8位	陸上競技	10.3%	11.6%	8.9%	・北口榛花選手の連覇(埼玉県 20代男性) ・リレーに注目してるから(沖縄県 30代男性)
9位	レスリング	9.4%	10.8%	7.9%	・今大会のメダル獲得数が多かったため、次大会でも期待(兵庫県 20代男性)
10位	スケートボード	8.5%	5.1%	12.0%	・堀米選手の連覇はもちろんだが今回入賞した選手にも次回頑張ってもらいたい(宮城県 40代女性)
11位	バドミントン	7.6%	6.7%	8.5%	・次もメダルを取って欲しい(福岡県 50代男性)
12位	水泳	7.5%	7.3%	7.7%	・高飛び込みで金を期待(広島県 50代女性)
13位	スポーツクライミング	7.3%	5.9%	8.7%	・初めて見てハマった!(埼玉県 30代女性)
14位	フェンシング	6.2%	4.9%	7.5%	・日本のお家芸になり得る(鹿児島県 60代男性)
15位	ゴルフ	5.9%	9.1%	2.6%	・松山英樹金メダル(三重県 40代男性)
16位	テニス	2.8%	3.7%	1.8%	・大坂なおみに期待(大阪府 40代女性)
17位	馬術	2.7%	1.6%	3.9%	・今回、初老ジャパンの活躍に興味を持ったから(神奈川県 50代女性)
18位	自転車	2.4%	3.0%	1.8%	・競輪大国(群馬県 50代男性)
19位	サーフィン	2.2%	2.0%	2.4%	・アメリカでの波は人生を輝かせる力を持つから(沖縄県 20代男性)
20位	近代五種	1.7%	1.2%	2.2%	・今回の五輪で良さが分かった(福井県 30代女性) ・SASUKEの要素取り入れ(千葉県 30代女性)
	射撃	1.5%	1.4%	1.6%	・話題になっていたから(広島県 20代男性)
22位	スカッシュ	1.2%	1.6%	0.8%	・五輪で見たことないから(大阪府 30代女性)
23位	クリケット	1.1%	1.0%	1.2%	・128年ぶりだから(愛知県 20代女性)
24位	アーチェリー	1.0%	1.2%	0.8%	・普段みることができない(東京都 60代男性)
	ハンドボール	1.0%	1.2%	0.8%	・初めて見たがおもしろかった(奈良県 20代女性)
26位	トライアスロン	0.8%	1.0%	0.6%	・次こそ綺麗な海を泳いで(東京都 30代男性)
	ラクロス	0.8%	1.2%	0.4%	・大学時代に所属していた(熊本県 30代女性)
28位	ウエイトリフティング	0.7%	1.2%	0.2%	・筋肉に興味があるから(兵庫県 30代男性)
	カヌー	0.7%	1.0%	0.4%	・スピード感がある(東京都 20代男性)
	フラグフットボール	0.7%	0.8%	0.6%	・NFLが好きだから(広島県 30代女性)
31位	7人制ラグビー	0.6%	1.2%	0.0%	・団結力を見たい(兵庫県 30代男性)
	ヨット	0.6%	0.6%	0.6%	・さらなる成長が楽しみ(宮城県 50代女性)
33位	テコンドー	0.4%	0.2%	0.6%	・カッコいいから(山口県 20代女性)
34位	ホッケー	0.3%	0.2%	0.4%	・やってるから(大阪府 50代男性)
	ボート	0.3%	0.2%	0.4%	・面白い(神奈川県 20代女性)



## 5. 日本代表選手以外で印象に残った人物に関する調査

本調査では、日本代表選手以外で印象に残った人物に関する自由記述調査も行いました。国内外選手団に含まれる「日本代表指導者・外国チームの代表選手」と、それ以外の「元選手・式典出席者・アナウンサー」に分けて、2件以上の人物を理由とともに下表にまとめました。なお、ニックネームや表記ゆれは修正の上、正式名称に統合して集計しています。

### 5-1. 日本代表指導者・外国チームの代表選手

1位は「無課金おじさん」として一躍時の人となった射撃混合エアピストル銀メダリストのトルコ代表ユスフ・ディケッチ選手、2位は柔道において圧倒的な存在感を見せたフランス代表のデディ・リネール選手、3位は7年間にわたりバレーボール男子日本代表を指揮し惜しまれつつ退任したフィリップ・ブラン監督でした。

総合 順位	人物名<競技> (チーム)	票数			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
1位	ユスフ・ディケッチ <射撃> (トルコ)	24	14	10	・装備を付けずに2位を取った事で普段スポーツを話さない人々にまで取り沙汰されてたから (東京都 20代男性) ・競技姿勢もオリンピック精神も素晴らしい (大阪府 50代女性)
2位	デディ・リネール <柔道> (フランス)	23	16	7	・他を圧倒する存在感 (東京都 60代女性) ・フランスの柔道家でレジェンド (東京都 50代女性) ・疑惑のルーレット (広島県 30代男性)
3位	フィリップ・ブラン <バレーボール> (日本)	21	3	18	・歴史に残るチームを作り上げた監督 (北海道 40代女性) ・石川祐希選手と抱き合っただけで涙しているシーンに感動した (新潟県 40代女性)
4位	ステフィン・カリー <バスケットボール> (米国)	12	10	2	・歴代最高シューターの存在感はオリンピックでも健在 (岩手県 20代男性) ・決勝のスリーポイントが印象的 (千葉県 20代女性)
	ノバク・ジョコビッチ <テニス> (セルビア)	12	11	1	・金メダルのプレーすごかった (東京都 30代男性) ・ゴールデンスラム達成の偉業 (大阪府 40代男性)
6位	レブロン・ジェームズ <バスケットボール> (米国)	9	7	2	・アメリカバスケの圧倒的な存在感。それを統べる最高選手 (岩手県 20代男性)
7位	イマネ・ケリフ <ボクシング> (アルジェリア)	6	4	2	・染色体の件で話題になっていたから (愛知県 20代男性)
8位	石田大輔 <卓球> (日本)	4	2	2	・早田ひなちゃんとの関係性が素晴らしかったから (東京都 30代女性)
9位	アルマント・デュプランティ ス<陸上> (スウェーデン)	3	2	1	・あのブブカの記録を抜き、今も更新している (兵庫県 60代男性)
	孫穎莎 <卓球> (中国)	3	3		・早田選手の怪我を気にしてくれた、一流のアスリート (福岡県 40代男性)
	ピネシュ・フォガト <レスリング> (インド)	3	3		・減量の過酷な状況が明らかとなったから (大阪府 40代男性)
12位	エルワン・ルペシュー <フェンシング> (日本)	2	1	1	・フランス代表から日本のコーチに (大分県 60代男性) ・日本に金をもたらした (熊本県 60代女性)



総合 順位	人物名<競技> (チーム)	票数			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
12位	トム・ホーバス <バスケットボール> (日本)	2	1	1	・日本のバスケ界にはこの人が必要 (埼玉県 40代女性)
	眞鍋政義 <バレーボール> (日本)	2	1	1	・メダルとって欲しかった (群馬県 50代女性)
	渡辺武弘 <卓球> (日本)	2	2		・選手を重んじている姿勢が伝わったから (東京都 40代男性)
	タミラト・トラ <陸上> (エチオピア)	2	1	1	・男子マラソンで、補欠で優勝したから (千葉県 40代女性)
	トーマス・デーリー <飛び込み> (英国)	2		2	・東京五輪以来ユーチューブチャンネルを見ていて楽しみに していた選手だから (長野県 50代女性)
	ラファエル・ナダル <テニス> (スペイン)	2	2		・開会式の聖火ランナー (大阪府 60代男性)
	レオン・マルシャン <競泳> (フランス)	2	1	1	・複数の種目で圧倒的な強さだったので (兵庫県 50代女性)

## 5-2. 元選手・式典出演者・アナウンサー

1位は、閉会式において2028ロス五輪への架け橋として登場したハリウッド俳優のトム・クルーズさん、2位は注目競技「卓球」の解説やインタビュアーとして好評を博した石川佳純さん、3位は熱いレポートに定評があり今大会では体調不良も心配された松岡修造さんの名前が挙がりました。

総合 順位	人物名	票数			自由記述の抜粋
		全体	男性	女性	
1位	トム・クルーズ	15	10	5	・映画のようでかっこよかった (埼玉県 60代女性) ・女子サッカーで頻りに映っていた (沖縄県 30代男性)
2位	石川佳純	14	7	7	・解説がわかりやすい (長崎県 20代男性) ・選手に寄り添った対応が印象的 (東京都 50代女性)
3位	松岡修造	13	9	4	・やはりなくてはならない方 (東京都 50代女性) ・選手は元気もらえると思う (群馬県 50代女性)
4位	内村航平	8	3	5	・体操界のレジェンドだからこそ言える金言だったから (東京都 30代女性)
5位	トーマス・バッハ	5	4	1	・閉会式のギャグがさえていたから (大阪府 40代男性)
6位	セリーヌ・ディオーン	4		4	・自然と涙が出る素晴らしい歌声だった (東京都 40代女性)
7位	レディー・ガガ	2	1	1	・開会式でのパフォーマンス (神奈川県 50代女性)
	倉田大誠	2	1	1	・「金メダルに恋した14歳」の実況 (北海道 60代男性)
	杉谷拳士	2	1	1	・Instagramで見かけた投稿が面白かった (神奈川県 40代女性)
	高橋尚子	2		2	・下調べをしっかりとっている (東京都 50代女性)
	福澤達哉	2		2	・バレーの解説が上手く愛がある (岡山県 40代女性)
	増田明美	2	1	1	・選手の努力がよく分かる解説 (東京都 60代女性)



【調査概要】

調査方法：インターネットリサーチ

調査期間：2024年8月14日～16日の3日間

調査対象：20歳から69歳までの男女1,000人（地域・性年代構成比は、総務省統計局最新推計比率に準拠）

調査監修：小野田哲弥（産業能率大学スポーツマネジメント研究所研究員／情報マネジメント学部教授）

調査協力：阿部凌・岸下佳祐・小永吉祥太・長谷川也紗・松浦駆・宮野夏実（小野田ゼミ）

【回答者属性】（N=1,000）

	男性	女性	計
20代	87	81	168
30代	90	86	176
40代	113	110	223
50代	119	116	235
60代	98	100	198
計	507	493	1,000

地方	N	都道府県
1. 北海道	40	北海道
2. 東北	65	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
3. 関東	364	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
4. 甲信越・北陸	61	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県
5. 東海	118	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
6. 近畿	162	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
7. 中国	55	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
8. 四国	26	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
9. 九州・沖縄	109	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
合計	1,000	

【産業能率大学】

■ホームページ：<https://www.sanno.ac.jp/>

◆本件に関するご取材・お問い合わせ◆

産業能率大学広報事務局（共同ピーアール内）

Email : sanno-u-pr@kyodo-pr.co.jp

TEL:日比（070-4303-7219） 秋山（080-1032-8649）